

【鳴門市行政評価】

平成27年度事務事業評価シート(26年度実績)

◎基本情報

事務事業名	ハザードマップ見直し事業		担当部署	企画総務部 危機管理局 危機管理課	
総合計画体系			根拠法令 計画など	地域防災計画、津波避難計画、 地震津波対策推進計画	
基本政策(大項目)	3	しっかり安心・快適住み良いまちづくり	事業 期間	開始	平成 25 年度
政策(中項目)	1	安心して暮らせるまち なんと			終 期
(小項目)					
施策	1	災害に負けないまちづくりの推進			
基本事業	3	防災施設・資機材等の整備			

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理														
事業対象	誰(何)を対象にしているか	全市民														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	非常時に安全かつ確な避難行動が行えるよう、住民一人一人の防災意識を高める。														
事業計画	26年度に何を計画していたか	住民の防災意識の高揚を図り、水害や土砂災害等の非常時に安全かつ確な避難行動が行えるよう、現行のハザードマップの見直し、作成。また、平成25年度に作成した「津波避難マップ」の配布。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>25年度</th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ハザードマップの作成</td> <td>津波HM作成・公表</td> <td>津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表</td> <td>土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表</td> <td>ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表</td> <td>ため池HM②印刷・配布 ため池HM③作成・公表</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位	ハザードマップの作成	津波HM作成・公表	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表	ため池HM②印刷・配布 ため池HM③作成・公表	
指標名	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	単位										
ハザードマップの作成	津波HM作成・公表	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	土砂・洪水HM印刷・配布 ため池HM①作成・公表	ため池HM①印刷・配布 ため池HM②作成・公表	ため池HM②印刷・配布 ため池HM③作成・公表											

◎実施結果(DO)

事業実施内容	26年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	国又は県が作成している各河川の「洪水浸水想定」、「土砂災害警戒区域」等のデータを基に、土砂災害・洪水ハザードマップを作成し、市公式HPに掲載。 また、平成25年度に作成した「津波避難マップ」をカラーユニバーサルデザインに配慮した配色等に変更し、配布。					
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他						
指標名		25年度実績	26年度実績	27年度目標	28年度目標	29年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	ハザードマップ周知	○	○	○	○	
	2						
成果指標 対象にどのような効果があつたか示す指標	ハザードマップの作成		津波HM作成・公表	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	-	-	-
	目標達成率(実績/目標)			100.0	-	-	-
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		計画どおり	

(千円)

財源内訳	平成26年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額		0	0	0	0	7,000	7,000
		全体予算額		0	0	0	0	5,834	5,834
		決算額		0	0	0	0	1,182	1,182
		繰越額		0	0	0	0	4,000	4,000
	人件費		正規職員(6,878千円/人)	臨時職員(2,023千円/人)	総人件費		総事業費		
		0.2	0.0	1,376		2,558			

事業費推移	年度	25年度決算	26年度決算	27年度	28年度	29年度
	事業費	3,255	1,182	22,768	6,000	6,000
	うち一般財源	2,255	1,182	4,768	3,000	3,000
	人件費	1,303	1,376	1,376	1,376	1,376
	総事業費	4,558	2,558	24,144	7,376	7,376

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	より広く防災意識の高揚を図ることができた。
	効率性	A:効率的だった	カラーユニバーサルデザインについては、有識者に意見を求めるなど、検証合格に向けて効率的にデザインの検討を行えた。
②成果に対する評価	指標名	ハザードマップの作成	
	目標	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	0
	実績	津波HM印刷・配布 土砂・洪水HM作成・公表	0
	評価	A:目標を達成できた	
③総合的な評価		A	HMの作成・公表だけでなく、カラーユニバーサルデザインに配慮したマップを市内各戸に配布するなど、情報が誰にでも伝わりやすい工夫できたことから、A評価とした。(土砂・洪水HMの配布はH27年度行う予定)

◎今後の方向性(ACTION)

課題	H26年度に作成・公表した「土砂災害・洪水ハザードマップ」や平成27年度から作成を予定している「ため池ハザードマップ」についても、カラーユニバーサルデザインに配慮した印刷物を市内各戸に配布することにより、より多くの方に防災意識を高めてもらえるよう努める。 また、今後、各種ハザードマップをまとめた「総合防災マップ」を作成する。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	4
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H27年度	「土砂災害・洪水ハザードマップ」のカラーユニバーサルデザイン検証合格及び印刷・配布。 「ため池ハザードマップ(H27年度分6池)」の作成・公表。(3ヶ年に分けて作成予定。)			
	H28年度	H27年度に作成した「ため池ハザードマップ」のカラーユニバーサルデザイン検証合格及び印刷・配布を予定している。 「ため池ハザードマップ(H28年度分6池)」の作成・公表を予定している。			